



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和7年 10月30日
豊玉中学校だより No. 28

【E-mail】 matsushita.yoko2@nerima-ky.ed.jp

【URL】 <https://www.nerima-ky.ed.jp/toyotama-j/>

10月に入った頃はまだ夏の名残を感じる暑さが続いていましたが、先週あたりからは急に冷え込みが厳しくなり、朝夕の服装選びにも悩む季節になってきました。気温の変化が大きいこの時期は、子どもたちも大人も体調を崩しやすい頃です。どうぞご家庭でもあたたかく過ごしながらか、秋の毎日を元気に楽しんでいただければと思います。

先日の学校公開には、多くの皆さまに足を運んでいただき、子どもたちの学びの姿をご覧いただけましたことに心から感謝いたします。今週末には文化発表会を予定しています。子どもたちが日々の学習や活動の成果を一生懸命に披露する場ですので、ぜひご来校いただき、成長の姿を温かく見守っていただければ幸いです。

令和7年10月20日 全校朝礼 ～ 校長講話より ～

おはようございます。今日は、2週間後に開催される合唱コンクールに向けて、みなさんに伝えたいことを話します。

みなさんは、お城の下に積まれている石垣を見たことがありますか。石垣は何百年もの間、崩れることなく残り続け、大きな地震や台風にも耐えてきました。その強さの理由は、一つひとつの石が形も大きさも違うのに、それぞれが置かれた位置で役割を果たし、互いに支え合っていることにあります。大きな石もあれば小さな石もあり、角ばった石もあれば丸みを帯びた石もあります。それぞれが全体を支え合うことで、強い石垣ができてあがっているのです。もし同じ形の石だけを積み上げたら、かえって弱く、崩れやすくなってしまいます。さらに、石が一つでも欠けてしまえば全体の均衡が崩れ、もろくなってしまうのです。

また、石垣は一か所に力が集中していません。石と石が力を分け合い、全体に分散させているからこそ、大きな揺れや衝撃にも耐えられるのです。つまり、石垣は「一つの大きな石が全体を支えている」のではなく、「多くの石が互いに支え合い、力を分け合っている」からこそ、長い年月を経ても崩れないのです。そしてもう一つ大切なのは、石と石の間にあるわずかな「隙間」、いわゆる「遊び」があることです。隙間なく固めてしまえば一見強そうに見えますが、ひびが入ったときに一気に崩れてしまいます。少しの余裕があることで、石同士が衝撃を吸収し合い、全体としての強さを保つことができるのです。石垣は「完璧に固めること」ではなく、「余裕をもって支え合うこと」でこそ、長い年月を耐えてきたのです。

私は、この石垣の成り立ちに、合唱を重ねて考えています。合唱も、一人ひとりの声が違います。高い声もあれば低い声もあり、大きな声で歌う人もいれば、控えめに歌う人もいます。その違いがあるからこそ、音楽に厚みが生まれ、美しいハーモニーが響くのです。ソプラノ、アルト、テノール、バス、それぞれのパートが自分の役割を果たしながら、互いに支え合うことで、ひとつの合唱が完成します。

そして、合唱にも石垣と同じように「遊び=余裕」が必要です。完璧にそろえることを目指すのはもちろん大切ですが、それと同じくらい、お互いを認め合い、少しの違いを受け入れる心の余裕も欠かせません。自分の声だけを主張するのではなく、周りの声に耳を澄ませ、呼吸を合わせ、気持ちを合わせる。その積み重ねが、合唱をよりしなやかに、そして力強く響かせるのです。

練習の中では、意見がぶつかることもあるでしょう。「もっと大きな声を出してほしい」「テンポを合わせてほしい」…そんなやりとりもあると思います。でも、それは決して無駄なことではありません。ぶつかり合いながらも、互いを理解し、補い合うことで、学級は少しずつ一つにまとまっていきます。その過程こそが、合唱コンクールの大切な意味の一つになるのです。だからこそ「自分の声なんて小さいから…」とか「音程が苦手だから…」と引いてしまわないでください。どんな声も欠かすことはできません。みなさん一人ひとりの声が重なって初めて、合唱が完成するのです。

石垣が長い年月を経ても人々を支え続けてきたように、みなさんの合唱も、きっと心に残り続けるものになるでしょう。声を重ねるたびに仲間を信じる気持ちが強くなり、呼吸や心が一つになっていく。その瞬間こそが、合唱コンクールの本当の価値だと思います。残された練習の時間や音楽の授業を大切にしてください。そして本番では、全員で築き上げた合唱を、胸を張って響かせてください。私は、みなさんの歌声が体育館いっぱいに広がり、聴く人の心を震わせる瞬間を楽しみにしています。

～豊玉中学校の秋は盛りだくさん!～

10月、様々な行事や活動が目白押しでした。6日の生徒会朝礼で「生徒会・専門委員任命式」を実施したのを皮切りに、7～9日に2学年の「職場体験」、11日の1学年「豊中ハローワーク」、17日には全校で「笑顔と学びのプロジェクト～MYご飯茶碗をつくろう～」を行いました。今月号の[まがたま]では、この1か月の行事と活動の様子をお知らせしたいと思います。

【任命式】

生徒会新役員・専門委員会の委員長が壇上に上がり、校長先生から任命状をいただきました。専門委員はフロアで紹介されます。後期の仕事、よろしくお願いします。



【2学年・職場体験】

保育園や高齢者福祉施設で、働く実体験をさせていただきました。小さい子のお世話、入居者の方のベッドメイキングなど、「誰かのため」に働く大変さを知りました。



将棋の対戦中...

【1学年・豊中ハローワーク】

弁護士、テレビ局員、薬剤師、元 JICA 職員等、地域の活躍する社会人の方々に、ゲストティーチャーとしてお越しいただきました。日頃は聞けないような業界のお話も聞かせていただきました!



興味深々で聞き入る1年生です。

【笑顔と学びのプロジェクト】



講師の方の説明を聞いて鋭意制作中です。「ものづくり」って、楽しいね!



焼き上がりはどんなかな???

～いじめ一掃プロジェクト～

27日の生徒会朝礼において、生徒会本部から「令和7年度いじめ一掃プロジェクト」で受賞した【いじめ防止ポスター】と【いじめ防止標語】が紹介されました。

【最優秀賞】「誰かの傷 見えないふりして どうするの?」
【校長先生賞】「気づいた人から繋いでく 誰かを助けるその勇気」
【副校長先生賞】「つきささる はなっちゃだめな 言葉の矢」

～自分も他人(ひと)も大切にしていましょ～

【最優秀賞作品】

